夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

総選挙前哨戦

関内、太田まず優勢 石城地区が天王山か

総選挙は告示を終え序盤戦に突入した、第三区もようやく立候補者が決定、自由党は関内正一、太田秋之助の両氏が有利な選挙地盤で断然優勢、各方面からはさみ打ちの自由党分党派の前代議士高木松吉氏は不利な立場に追込まれているが、同志らは理想選挙とかざして吉田派と決戦の態勢を整えている、社会党は統一の夢破れて前代議士松井松吉（右派）に左派大河原一次氏がちよう戦、調整とれた改進は小野一雄氏のみで、これまた前回の得票を上廻る予想であり、再登場により定員三名が七名で逐鹿戦を展開するものと予想されていたが、突如して立憲養政会斎藤晃氏が二十五日立候補を届出、遂に乱戦の様相を呈して来た

各郡別に見た、各候補者の序盤戦にむける戦況を見れば――

相馬 前回鈴木氏は四万九千八百八十票の大量得票をなし、第三区戦線に新記録を作つたこの神風が再び太田老に及ぼすか否かは疑問とされるところで代議士が一年毎に交替では何んら仕事は出来まい、鈴木氏なども何一つしなかつたのみか、選挙民は挙つて高木代議士に運動を依頼し、全部解決している。このような事実を知つているので、単に同情的な票よりも、郷土開発のためてい身する人に清き一票を投じようという選挙民の自覚が大きく浮び上つていることを見逃すわけにはゆかぬ従つて相馬の票は相当割れるであろうと見られ、前回の松井四千七百八十二票、高木四千七百四十三票、残りの二千二百五十六票合計約一万二千以上喰い込まれるだろうが、太田氏としては取敢えず大盤石で、優勝候補の第一人者である

双葉 三郡中一番票数の少い地域から出馬している高木松吉氏は、今回も苦戦に陥入つている

太田老から相当喰い込まれる公算が大きい、即ち前回は鈴木直人氏が四千四百十二票とつているが、さらにこれを上廻るものを予想され、松井氏の四千五百票は、左派大河原氏と割れ、約一万五千票から各候補に蚕食されれば、高木氏は危険である

双葉郡でも、地元の高木を落すなと、全郡に激を飛ばしているが、この運動はさらに各層に浸透することであろうと期待されている

石城 三区中の最激戦となつて、石城の票が正に天王山となり、各候補の生命線であるだけ血みどろの戦が演ぜられるであろう

まず改進党小野氏はようやく選挙になれて農民層をねらつて有利に展開その誠実と情熱を買う人々が相当多くなつている。野崎氏の参謀によつて平市内に相当喰い込むことが想像される

一方社会党は統一の夢破れて右派松井、左派大河原の同志打となつたが、松井は日鉱常連、常磐炭連に二万一千名の組織と、双、相にまたがる日農の組織と代議士三期の確固たる地盤があり、磐炭労五千六百と日本水素の票は弱冠の大河原氏との戦いは七、三で松井に歩ありとみられている。共産党植村候補は前回同様一部自由労務者を中心とした前回の得票は動かぬだろう

注目は斎藤氏、傷病軍人関係を中心に八千動かぬ支持者をしめている潜行の勢力は相当各候補者に打撃で、平市内も大混乱となつて来た

まず序盤戦で一位は太田二位関内三位松井の三氏が早くも当選圏内にあると見るのが妥当であろう

借金政策に質問 平市予算市会（二日目）

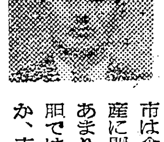
平市予算市会第二日目は二十七日午前十時から開会、一般質問戦というので、神谷婦人会代表者ら傍聴席に押しかけていた、まず志賀氏の質問あつてから

小野（栄）氏

明年度予算を見れば、起債及び借入金によつて辛くも編成している起債金額は七千六百八十三万円に及びこれに二十七年度追加予算及び専決処分など加えると一億以上の借金となり、二億の予算の半分は借金政策である、このような状態では将来の財政計画は出来まい、将来は競輪に頼らねば仕事は一つも出来ない状態にある、その競輪もわれらの見解ではもつと成績をあげ得ると思う、この際競輪委員長は辞職する考えはないかと述べると、右に対し伊藤助役

平市は発展途上にあるため幾多の重要な施設を要しているので、財源も行詰りを招いているが、起債は予算の四分の一に過ぎず、いたずらに借金しているわけではない、今後の財政計画についても十二分に注意している

と答弁あり、次に佐藤友寿氏



市は食糧増産に関してあまりに冷胆ではないか、市内の農村からは固定資産税のみでも約七百万円の税金があがつている、その何分の一にすぎない農村施設では心細い次第であり、合併した農村方面を冷酷にすれば今後の合併にも影響するではないか、また納税整理に今後はばく大な金を支出しているが、あまりに無計画ではないか

右に対して伊藤助役から答弁あり午後引続き一般質問にあつたのち各議案を委員会に附託して散会した

平競輪終了（意外の不成績）

平競輪は、二周年記念のため全国一流選手を招き、豪華レースを行いファンを喜ばしたが、六日間の総売上げは三千九百十四万九千三百円（本場一千五百六十六万二千三百円、場外売場二千三百四十八万七千円）で、予想外の不成績を収めて終了した

◇

これは年度末の税金攻勢のため、天候が悪るかつたなどが原因とみられている。ただ入場人員のみは延七千人を突破して新記録を作つた

◇

四月及び五月にはこの不況を挽回するため競輪課では努力すると語つていた

公明選擧 また組織

公明選挙運動は各市町村が母体となり青年会、婦人会など民間団体協力のもとに組織した公明選挙推進委が中心となつて今回も具体的な推進準備を進めているが、「公明選挙とは地元優先であつて他から来る金や候補の手にのらないことだ」というような公明選挙を巧みに選挙運動にとけ込ませて宣伝する悪らつな手段なども前回の例から見受けられているだけに、これらに対する委員会の厳正なる態度と徹底した公明啓発が強く望まれている

無銭飲食の男

入遠野村大字入遠野字折根一二五番地無職小野来吉(三九)は、植田町小名田飲食店小名田屋酔部甚兵衛方で、八百十円相当を無銭飲食をなし植田署に検挙された、同人は詐欺罪三年間の執行猶予中のもの

植田防犯会 廿八日発起人会

植田町防犯協力会結成準備委員会では予ねてから、治安は民間のよりよき協力にと、計画中だつたが、この程その案もまとまり二十八日午前九時から町役場会議室に報導陣、ほか官民多数参集これが協議会を催し、強力に発足することになつた

中学生家出 三万円持出し

平公安室では二十七日家出指名手配の相馬郡原町一七九セメント工業中野徳七郎二男学生某(一五)が、磐越東線二〇四列車に乗車しているのを発見保護した、なお某は徳七郎さんが銀行に入れていた預金のうち三万円を下して持つていた

茶羽織と帯

▼このところ、目立つてふえて来たのは茶羽織姿です。洋装でいえばさしずめトッパーということの軽快な感じは、和服姿に風わぬ新鮮味を添えます。さらに春着の決定版という処でしよう▲ところで、この茶羽織の下にお太鼓を高々としめたくらいおかしな格好はありません。普通でも、ちかごろは羽織下の帯はぺたんとしめるのがスマートということになつているのに、丈の短いこの羽織を帯でかさ張らせてはまるでランプ・シェードを背中につけているような感じです。▼前の帯幅もぐつと狭めに、帯揚げなどのぞかせないこと、ショールも細く折つて短かくかけることなど茶羽織姿の軽快さを殺さないような着こなしをなさつて下さい。

（東京新聞掲載）

その茶羽織を専門に取揃へて「平の北川呉服店」が一割引の展示即売会の大売出し中で皆様の御批判御来店をお待ちして居ります

（広告）

春の京呉服 かみや 平市二丁目 T.256

伏見商店 平駅前 本場海苔

昔より定評有る大塚の靴
学生靴、紳士靴、婦人靴
本年東京展示会特賞の パンプス、プラット 各種
（各種――耐久と技術の型の良い）
安価に……販売
平駅前 大塚へ 電七十七
指定商 チケット御利用下さい

小倉最中、
平田町 みよし 電六九一

祝 賀
創立三周年記念祭
★大舞踏會★
3月29日（日）5時より
楽団白樺
★フエスタル・タンゴ五重奏団
（御来場の皆様に記念品進呈）
前売中 ￥150 当日 ￥180
28日（土）夜の部…前夜祭
29日（日）昼の部…￥70
アロハ・セレナーダス
上品なふん囲気!!
社交ダンス 巴里
（謝恩券進呈中）

進学 卒業
★御贈答品に★
平銀座 誠光堂時計店 T1496

小型自動車運転試験
★学科試験
期日 四月七日午前九時
場所 平第一小学校講堂
★実地試験
期日 学科試験合格者のみ実地試験を実施
場所 平市堂根町二五カトリツク教会隣広場
★資格
満十六才以上の人わだれでも受験出来ます
★取扱 受験希望者は
イ、自動車運転免許申請書二通
ロ、戸籍抄本又は居住証明書、最近（六ケ月）撮影の上半身脱帽、名刺版の写真二葉添付
★締切 三月三十一日迄平市警察署に提出のこと
昭和二十八年三月二十五日
平市公安委員会
平市自動車運転者会

もうすぐうれしい一年生

ランドセル特価奉仕

ビロード冠	￥430円
総ビニール	￥450円
総ツツク	￥530円
総豚	￥680円ヨリ
牛冠上製	￥1250円
総牛	￥1600円ヨリ

専の店
セーラ服、学生服、KC服
学生手提、ゾーリ袋
洋品の店 平三 やまと

青年會の選擧運動
二丁目の行動に批判

市町村や青年会、婦人会、報道機関など挙げて公明選挙を推進しようとしている矢先、政治結社でもない市内の一青年団が特定の候補者のために団員挙げて選挙運動に乗り出したという、記事がいわき民報紙上に公然と発表され、大きな波紋を巻き起している、同問題について当の団員は個人で支持したが、団としてやっては居ないと否定、また市当局では「政治団体の届出もしていない青年会がそのような行動を公然と出来るわけはない、事実なら即日止めてもらわねばならない」と語っているが果してその真相は？或いは新聞だけのハツタリか？各方面にその反響を聞えて見る

政治規正法違反 市当局はかく語る

い、団がやる場合は政治規正法によって届け出なければならずもしこれを怠っている場合は選挙違反だ、もし是れが事実ならば市当局として止めさせる」

市教育委員會談

「民主的文化団体であるという青年会設立当時の趣旨に反しているのではなかろうか、私しとしては賛成しかねる」

二丁目 根本青年団長談

「新聞にどうでていたかはわからない、二丁目の青年団としては特定候補の選挙運動はしていない、まだ青年団の有志として我々は某候補の運動に協力していることは事実だ」

草野連青年会長談

「公明選挙運動に参加している連青の下にあるブロック青年団が選挙運動を行うということは私しとしてやってもらいたくない、万一選挙違反が出た場合に連青の名前が大きく浮び上がるので会として絶対反対する」

市役所 佐藤總務部長談

「青年会が公明選挙運動に参加しているとき団並に団員個人が選挙運動を行う事は絶対出来な

歸還者ら歸平
肉親に迎えられ到着

興安丸の帰国第一団石城、平関係者はきよう懐しの郷土入りする、廿六日帰国列車で舞鶴を出発したが東北方面常磐線沿線関係は廿七日上野発午後零時十分下二三三列車で勿来着は午後四時三十九分、平着五時二十六分到着する、石城地方事務所では管内帰還者の接待を行うため今朝午前九時係員二名を水戸まで派遣した、一方勿来、平駅ではお茶の接待を行うほか各駅でその労をねぎらうため児童達が歓迎する、なお第二船高砂丸の帰国者も二十八日同列車で帰国する予定、今日なつかしの郷土入りする人々は

◇平市六人町古内新平(三三)ネギ町二階堂勇吉(三二)妻君子(三四)長男進(三)長女幸子(一)
◇小名浜町柳田英一(五七)妻英子(四九)松川治一(三〇)
◇内郷町鈴木みどり(三八)高岡茂明(三四)茂一(五〇)晋(三〇)菊地光枝(三九)同伊賀子(一九)菅野朝治(三八)
◇川部村湯沢君恵(三五)同一(一〇)斎藤一(三四)
◇下小川村吉田英一(三九)
◇植田町大谷弘芳(三八)
◇赤井村草野真寛(三七)

帰還者の対策会

平市福祉協議会理事会は二十八日午前九時から市役所委員会室で開き、次の件について協議する
◇帰還者に対する協力
◇帰還情況報告

湯本高校合格者

中田龍正。秋山好弘。永山芳夫。坂本淺雄。田山順一。舟木正男。佐藤武彦。佐野知道。瀬谷正一。山口喜幸。渡辺俊晃。金子義信。大河内和男。佐藤力雄。小野清一。安島吉孝。佐々木順一。大和田忠啓。高木忠一。鈴木邦忠。菅山利勝。阿部明。倉上三二。鈴木五郎。斎藤弘一。岸田整。鈴木茂。石島岩男。石黒英喜。八島秀勝。本田一郎。橋本俊男。四家豊。永山登。比佐靜夫。吉田光平。田巻重三。斎藤弘行。長瀬正郎。蛭田雄二。胡口政次。山際通。四位正勝。助川繁。棚田仁史。佐鳩勝男。石田耕三。秋場寿男。浅田嘉治。猪狩守江。斎藤卿平。寺山光男。植頭洋。三本杉昭。田子和彦。神長幸一。佐久間一彦。佐藤博文。石井文夫。駒木根重男。早坂厚生。高原幹治。鈴木一彦。佐藤勝友。棚田大成。猪狩俊雄。三枝克己。上面修一。折原一雄。大友幸男。岡田信子。オギ谷芳枝。板垣利子。鈴木美代子。木田登喜子。馬場道子。吉井悦子。釣巻和子。草野仁子。佐藤つや子。太田ミチ。田辺知代。高橋政子。吉田佳子。松本ケイ子。蛭田政子。松井美津江。高木アサ子。斎藤ナミ。渡辺京子。安藤みよ。坂本菊江。渡部カツ子。鈴木美智子。荒川初江。宮内清江。大井川利子。大和田アヤ子。山下富久子。佐藤満寿子。小泉千代。井出庫子。金成文子。古川富美子。古川悦子。滝邦子。稲沼竹代。追川富子。磯上尙子。佐藤勝子。斎藤京子。新妻ミネ。阿部レイ子。金成八重子。鈴木好子。川合清子。武藤悦代。山口節子。渡辺和子。黒羽トキエ。鈴木美知子。菊地京子。蒲生京子。金成恵子。鈴木清子。佐藤民子。川合正子。籠倉理恵子。綿引節子。高橋澄子。須藤かおり。吉田和。吉田悦子。北野明美。和田節子。斎藤克子。四家タキ子。三村節子。神谷蘇子。竹中美代子。大泉房子。松崎早成子。田中ケイ子。長谷川明子。鈴木洋子。高橋弘子。菅野昭子。高橋清子。佐藤和子。阿部マサ子。小林キヌ子。金子充江。長谷川ミツル。菅野さつ子。遠藤美奈子。松本啓子。助川信子。渡辺洋子。佐藤和子。篠田美代子。村越ハル子。井上亨子。佐藤啓子。宮本満亀子。小林郁子。中原チイ。大平恵子。白土由美子。渡辺幸代。佐藤京子。冨岡淑子。永山千鶴子。上田初江。矢内弓子。北野トヨ子。西舘和子。本島トラ子。大河原タマ子。小松初美。六本木一。林澄子。久保田百合子。松田恵美子。横堀美津子。市川タツエ。馬上時江。青木光子。小池てる子。松島広子。益子通按。鈴木久子。吉田京子。井上良子。鈴木和子。石沢レイ子。佐川久子。佐藤紀志子。片山啓子。沖田勝之。寺門光男。佐久間勝江。渡辺国武。諸橋健一。鈴木寿一。志賀哲夫。折笠功。伊藤昌明。横田弘子。佐藤ツタ子。鈴木鈴子

本社主催
浜通り軟式庭球大會
櫻花咲く松ケ岡コートで

浜通り軟庭界行事のうち春のシーズンのトツプを切り豪華な大会として、ファンから待望の本社主催「浜通り軟式庭球大会」は、平市の桜まつり行事に繰入れて、桜花咲き競う松ケ岡公園コートで来月十二日（日曜日）午前九時から挙行と決定した、同大会は庭球に親しむ人々の登龍門として、またかくれたテニスマンが続々と参加するため、第一回以来興味ある大会として注目されている、今回も

A組各方面の選手級の人々B級老朽その他の人々C庭球に対し比較的初歩の人々の三ブロックにわけ、それぐ＼そのブロック毎に優勝を争うもので

昨年度は富川、中島（呉羽）志摩、佐々木（常磐）市井、鈴木（平クン）が優勝し、晴れの本社大カツプを授与されている、今年は何人の手に期するべく、早くも各方面から参加を申込んで来ているが、春の大会とし熱戦が演ぜられるだろうとファンから期待されている。何人の参加も歓迎しているから、住所姓名年齢を附して本社まで直ちに申込まれたい

長瀬のカツプ

大会の使用球は、長瀬ゴム工業のM1印と決定し、同社は優勝チームに優勝カツプその他を寄贈した、また各方面から賞品も本社へ届けられて係員を感激させている

武ちゃんの悲喜劇
戸籍の誤りから入学通知

戸籍係の間違いか、戸籍届けの間違いからか小学校の入学通知が一年も早く舞い込み親達をあわてさせている珍話がある——話題の主は平市古鍛冶町七番仕立業渡辺清治さんの五男武彦ちゃん(五つ)で二十三日渡辺さん宅に武彦ちゃんの入学通知が届けられた、渡辺さんはもうそんな年になるかな、と思って二十四日の入学児童の身体検査に連れて行ったところ武彦ちやんと同年同月に生れた近所の児童達が誰も姿を見せないので不思議に思い調べてみたら皆な来年入学との話にびつくり、市役所に生年月日を問い合わしたところ、昭和二十三年に生れたはずの武彦ちやんが二十二年二月三日に、四女のアヤ子ちゃん(三つ)がこれまた一年早く二十三年七月四日の出生届になっていることが判つた、同家では早速市教委に一年延期の掛合をしているが、出生年月日を訂正せねば入学延期も出来ず、さりとて放つておけば児童教育法違反になるのでどうしたらよいでしょうかと悩んでいる

料亭 開花

平市大通り三丁目角 高野 文化堂

急募（女給さん）若干名 高橋前 小柳

『花長の支那そばは』 寿司花長 出前迅速

大谷石 五丁目 電六六 井上

洋服は 髙島屋 平市二丁目

コロムビア ラジオ 特約店 日東商会 二三六二

貸ふとん 新川町 スズキ 電四三

セイパンニュースNO11
〝お母さま〟 オヤツは坊やに夢と栄養を与えます
坊やの待つてる良いお菓子はいろとりぐ＼の味覚と香りの甘党サービスのセイパンで!!
パンとおやつの店 平製パン
今週のサンデーサービスは何でしょう？ 日曜日は是非セイパンへお出下さい

セトモノ タイル と
よい食器 楽しい食事
御宅の浴室と洗面所にはぜひタイルを タイルの御相談はお忘れなく
武田陶器店 平市一丁目 電二二九

これはこれはと可愛がつて頂ける
皆様の小型タクシーは
株式会社 平和タクシー 電話平一九一番
『旧名菊地タクシー』
又新車が入りました

常磐炭礦の石炭
石炭は信用のある有名品がお徳です
火力の強いガラの少ない石炭
電37番237番へ
平市田町 常磐炭砿販売会社

募集
一、本科（一ケ年）
一、研究科（一ケ年）
一、栄養科（六ケ月）
一、夜間速成科（六ケ月）
入学月日 四月五日（目下願書受付中）
資格…卒業生は東京服装学院の卒業資格が得られる
設備…明るい教室で自由教材実習出来るよう整えている
特徴…紳士服の指導女性必修の栄養指導
林高等服装女学院 院長 林 カネ子 平市七丁目通り

洋食 生そば 寿し
出前迅速 食事のデパート
不二屋 電八八六

品が良くて売れる塵紙
『丹頂鶴』
業者の皆様へ贈る初春の大特売
このたび弊社が業者各位の御厚情にむくゆる一助と致しまして左記により温泉御招待付の大特売を催すことになりました業者各位の御後援をお願い申上げます
記
一、「丹頂鶴」チリ紙二四シメ入五俵お買上げの方御一名様宛ご招待
一、期日 三月末日まで（但し期間中受注。発送、代金決済の分に限る）
一、御招待日 四月下旬
一、御招待温泉 飯坂温泉
丹頂鶴本舗 東京製紙株式会社 岩手県水沢町
なお左記各店にてお取扱い代行しております故至急御注文下さる様お願い申上げます
袋屋本店 平市五丁目電五一六
仙台屋商店 平市長橋町電五四八
松崎商店 平市新川町電一七二
山百商店 平市南町 電九四二

理容科 美容科 生徒募集
★願書〆切 四月五日
★試験 四月五日午前九時
社団法人平医師会附属 厚生省指定 福島県公認
平高等理容美容学院 平市南町七六（電三〇七）

看護婦生徒募集
★願書〆切 四月五日
★試験 四月五日午前九時
社団法人 平医師会附属 福島県公認
平准看護婦養成所 平市南町七六（電三〇七）